



一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

診断しが

Shindan-Shiga

No.55

2025 SUMMER



目 次

会長挨拶	1
特 集 記 事	
診断実務従事の取り組み	2
総会報告	4
委 員 会 報 告	
組織体制強化委員会・会員サービス強化委員会	5
厚生委員会	6
研 究 会 報 告 ・ 計 画	
事業承継研究会	7
事業再生研究会	8
地域経営研究会	9
DX研究会	10
リスクマネジメント研究会	11
創業支援研究会	12
活躍する診断士の横顔	14
新入会員紹介	16



(公社)びわこビジターズビューロー

あいの森ふれあい公園 青土ダム エコーバレイ

会長挨拶

滋賀県中小企業診断士協会 会長 大石 孝太郎

令和6年度は、当会の4つの機能の強化と充実に取り組んでまいりました。会員数は、期首の130名から139名へと増加し、新規の資格取得者だけでなく、他協会からの移籍や重複会員もあり、多様な経験と知識や技能を保有する会員が集っていただいています。



それに伴い、当会に寄せられるニーズや期待も多様となっています。これまで、当会は、常任理事や理事のボランティアによって運営されてきましたが、業務の専門性や労務の提供など、ボランティア精神だけでは運営が難しくなってきました。そこで、薄謝

ではありますが、一部の労務提供について謝金や報酬を支払う規程の整備等を行いました。合わせて他の規程類の見直しを行い、現状にマッチした規程と運用に改善してきました。各種団体との契約についても、会員弁護士による見直し等を随時行い、当協会として法的リスクへの対応などを進め、内部管理体制の強化に取り組みました。実践組織として、当協会の受託事業として、各種補助金支援や支援機関の事業受託など16事業192件の事業を行いました。これには、会員が個人として直接受託した事業は含まれておらず、活動会員全体の中小企業や支援機関への協力事業は、相当な規模になると考えられます。研究活動として、当会には15の専門分野の研究会があり、事業再生、DX支援、地域支援など多様な内容の研究と実践に取り組みました。当会独自の調査研究も行われ、毎年11月の診断士の日セミナーで公開セミナーを開催しました。会員の資質向上には、研究会以外に、プロコン塾、実務従事事業も好評を得て開催しました。

日本中小企業診断士連合会には、理事、業務委員として参加し、全国並びに近畿の他協会との情報交換や、連合会主体の全国生活衛生支援などに取り組みました。

令和7年度は、4つの機能の強化として、当協会の活動領域の拡大、中小企業診断士協会のブランド強化、会員資質の強化、会員相互の交流促進等に取り組む、地域の中小企業の経営力強化、地域の活性化を図り地域経済の発展により一層寄与いたします。

本年は、当協会設立40周年を迎えることもあり、より多くの会員、関係者、関係団体との協力を得られるよう広報にも取り組みますので、皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

特集記事

診断実務従事の取り組み

西村 剛史

会員サービス強化委員会では、昨年度も診断技術向上を図りながら実務従事ポイントを取得するための診断実務従事を実施しました。

- ◆ 日 程：2025年1月11日(土)～2025年3月末の間の6日間
- ◆ 対 象 者：中小企業診断士
- ◆ 参加費用：(一社)滋賀県診断士協会会員(12,000円) それ以外の方(39,000円)
- ◆ 詳細日程：主に土日为主体ですが、平日になる場合もあり。

オリエンテーション日	2025年1月11日(土) 14:00～16:00
①準備	コラボ滋賀21会議室 ・グループ分け及び担当指導員紹介 ・診断の進め方についての説明 ・報告書の作成方法の説明 ・グループ毎の日程説明
②ヒアリング	・担当指導員同行の下でヒアリング実施(平日の場合あり)
③経営診断	・各グループで実施(主に土日とメールでのやり取り)
④経営診断	
⑤経営診断	
⑥診断報告会	・2025年3月末までに担当指導員同行の下で実施 (平日の場合あり)

昨年度は18名の参加申し込みがありました。

上記の日程で、各4～5名の4班に分かれて、4名の指導員のもと、米原の寝具製造業、東近江の解体・リサイクル業、草津の飲食業、大津の生花小売業を診断しました。

毎年、企業様から「作成いただいた報告書は、これからの経営の指針にしていきたい。」などのお褒めの言葉をいただいておりますが、昨年度も当協会の実務従事事業にご協力いただいている企業さまに喜んでいただけました。

また、参加者のみなさまにも毎年、内容の濃い実習で、スキルアップにつながった。」などの声をいただいております。昨年度もとても有意義な実習となりました。

以下、一部参加者の感想を掲載しておきます。(敬称略)



◆ 橋詰 雅人

今回の診断先は花卉小売をメインにされている女性経営者の方の企業様でしたが、丁度事業の再構築のステージに際してチームとして整合性の取れた提案ができたと思います。

◆ 辻 智彦

自分のスキルアップと事業者支援の両方が出来るのであればと、実務従事に久しぶりに参加しました。事業者様が直面している課題を真剣に考え、チームで議論して解決策を練る過程は、非常にやりがいがありました。

◆ 原 哲郎

企業内診断士として診断実務を経験できる数少ない機会として参加しました。

診断チームとして対象企業さんの経緯や現状を踏まえ将来を見据えた提案ができ、貴重な経験となりました。

◆ 松浦 弘倫

今回はWEBサイトを担当しました。見やすく興味を持っていただける内容にと思いつつ 提言となると途端に難しくなります。報告会では参考になるとご評価いただき2ヶ月間が報われました。毎年のご指導ありがとうございます。

◆ 戸取 正明

西村先生、メンバーの皆様から多くの貴重な知見と学びを得ることができ、大変有意義な実習でした。今回は地域に根差した小売業であり、少人数で事業運営されていることから、効率的に販路開拓できる方策を提案できるよう心掛けました。少しでもお役に立てれば幸いです。



令和7年度(第14回)定時総会報告

大石 孝太郎

1. 開催日時 令和7年5月24日午後3時より開始
2. 開催場所 滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21 3階
3. 出席者

(1)会員総数	143名
(2)出席会員数	30名
(3)委任状提出者数	55名
(4)議決権行使書提出者数	20名

4. 議事の内容

(1)開会宣言(司会:佐々木会員)

令和7年度定時総会の開会を宣言し、本日の総会への出席は、会員総数143名、出席会員数30名、委任状による者55名、議決権行使書提出による者20名で、総数105名の出席となり、定款第17条第1稿及び第18条の規程による定足数に達していることを報告し、本総会は有効に成立したことを報告しました

(2)開会の挨拶を大石会長が、行いました。

(3)ご来賓として、滋賀県商工観光労働部中小企業支援課 住羽地課長様にご挨拶を頂きました。

(4)永年会員表彰

20年永年会員功労賞として廣田光政会員が表彰されました。

5. 議案

【報告事項】 第1号議案の「令和6年度事業報告の件」について、田畑副会長は、令和6年度事業状況を説明報告しました。

【決議事項】 第2号議案「令和6年度収支決算 承認の件」について、西村副会長は、令和6年度決算書(正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録)を提出して説明しました。監査役下村裕彦、山口智之は、事業報告および計算書類について、いずれも適法正確なことを報告しました。議場にその賛否を諮ったところ、全員の賛成をもって原案どおり承認可決されました。

【報告事項】 第3号議案「令和7年度事業計画」について、田畑副会長は、令和7年度事業計画を説明報告しました。

【決議事項】 第4号議案「令和7年度収支予算」について、西村副会長は、令和7年度収支予算について説明報告しました。議場にその意見を諮ったところ、全員の賛成をもって原案どおり承認されました。

以上をもって議事の全部を終了したので、議長は午後4時00分に閉会を宣しました。



活動報告

西村 剛史

組織体制強化委員会では、会員増強はもちろんのこと、e-learning によるコンプライアンス研修の受講を徹底することによりコンプライアンス強化に昨年度は引き続き、取り組みました。その結果、ほぼ全員の会員のみなさまが受講済となりました。

今年度も新入会員を中心に e-learning によるコンプライアンス研修の受講を徹底していきます。他に、今年度も働きやすく、集まりやすい環境の整備のために、事務所の書類整理を適時、実施してまいります。

また、会員サービス強化委員会では、本年度も診断技術向上を図りながら実務従事ポイントを取得するための、診断実務実習を実施します。

- ◆ 日 程：2026年1月10日(土)～2026年3月末の間の6日間
- ◆ 対 象 者：中小企業診断士
- ◆ 参加費用：(一社)滋賀県診断士協会会員(12,000円) それ以外の方(39,000円)
- ◆ 詳細日程：主に土日を主体ですが、平日になる場合もあり。

オリエンテーション日、場所	2026年1月10日(土) コラボ滋賀21会議室 14:00～16:00
①準備	・グループ分け及び担当指導員紹介 ・診断の進め方についての説明 ・報告書の作成方法の説明 ・グループ毎の日程説明
②ヒアリング	・担当指導員同行の下でヒアリング実施(平日の場合あり)
③経営診断	・各グループで実施(主に土日とメールでのやり取り)
④経営診断	
⑤経営診断	
⑥診断報告会	・2026年3月末までに担当指導員同行の下で実施(平日の場合あり)

上記の日程で、本年度も当協会の実務従事事業にご協力いただく企業さまに喜んでいただけるように頑張っております。また、参加者のみなさまにとっても、本年度もとても有意義な実習となるようにしていきたいと考えています。

厚生委員会

令和7年度 夏季 滋賀県中小企業診断士協会杯ゴルフ交流会

厚生委員会委員長 岩崎 弘之

令和7年6月29日、甲賀カントリークラブにて「滋賀県中小企業診断士協会杯ゴルフ交流会」を開催しました。当日は晴天に恵まれ、やや気温は高かったものの、参加者16名全員が元気にプレーを楽しみ、笑顔あふれる充実した一日となりました。

このゴルフ交流会は、これまで有志による開催でしたが、今年度からは協会の公式行事としてスタートしました。これにより、会員だけでなく他府県の診断士や支援機関の方々にも、より気軽に参加いただける機会が広がりました。今後は年2回の定期開催とし、滋賀県内外の中小企業支援関係者との交流を一層深める場としてまいります。記念すべき初代チャンピオンには、京都府中小企業診断協会の市山優さんが輝かれました。今回、優勝トロフィーを新調し、市山さんにはそのトロフィーが授与されました。副賞には、ご家族皆様で楽しめるよう黒毛和牛のリブロースステーキをご用意。その他にも、すき焼き肉や焼肉セットなど、お肉類を中心とした賞品を取り揃え、参加者の皆様にご満足いただけたようです。

厚生委員会では、今後もゴルフだけでなく、バーベキューやハイキングといった親睦イベントを企画してまいります。また、ワイン会や文化施設の見学会など、教養を深められる行事も検討中です。これらの多彩なイベントを通じて、診断士同士のつながりをさらに強化し、皆様のビジネスやネットワーク構築に貢献することを目指します。

今年度からは、協会主催イベントへの参加者に対し年1回2,000円の参加補助が出る新制度がスタートしました。これにより、これまで参加をためらっていた方も、より気軽にイベントに足を運んでいただけることと思います。診断士同士のつながりは、仕事にも人生にも大きな刺激と学びをもたらしてくれます。この機会に、まだ協会のイベントにご参加されたことのない方も、ぜひ一度ご参加ください。皆様とお会いできることを、厚生委員会一同、心よりお待ちしております。



甲賀カントリー倶楽部



西村副会長から優勝トロフィーを授与される市山氏



事業承継研究会

活動目的	◎ビジョン 「次の世代へつなげる“よい”会社づくり」へのお役立ちをめざします。		
	◎活動目的 研究会メンバーの承継支援事例の紹介と意見交換をメインに、各支援機関 中小機構近畿本部と連携しながら、新たに入会した会員への基礎的な承継 知識の学びを支援するとともに、承継に関連する会社法や民法、相続税・贈与 などの概要の把握、M&A後に必要となる「中小PMIガイドライン」への対応など 承継支援に必要な知識と対応力を身に付けることをめざしています。		
開催日	月1回（第2水曜日） 18:30～20:30	開催場所	原則、オンライン形式（ZOOM）で行う。
運営チーム	代表：松島明男、サブ：中川学、加瀬秀樹、岡本香		

1. 半年間の活動実績

①第99回：3月12日（水） 参加者16名

「事業承継計画事例発表 親族内・従業員承継各事例」 担当：井上稔会員

各支援事例を図解の上、独自のユーモア溢れる視点からわかりやすく発表いただきました。

②第100回：4月9日（水） 参加者15名

「シリーズ講座 事業承継計画作成の“勘どころ”」担当：中小機構アドバイザー小林俊文氏
中小機構近畿本部で支援機関向けに実施されている研修をベースに3回シリーズで、実際の支援の場で使えるノウハウを学びました。

③第101回：5月9日（水）参加者 17名

「シリーズ講座 事業承継計画作成演習 前半」 担当：中小機構アドバイザー小林俊文氏

④第102回：6月13日（水）参加者17名

「シリーズ講座 事業承継計画作成演習 後半」 担当：中小機構アドバイザー小林俊文氏
5月、6月の2回に分けて実際に作成した事業承継計画をもとにグループディスカッションで意見交換を行い、事業承継支援の理解を深めました。また、税制改正（令和6年1月1日施行）など、事業承継支援に活用できる制度も学びました。

2. 今後の活動予定について

第103回：7月9日（水） 担当：佐々木武会員

「事業承継（後継者育成）を軸とした伴走支援事例（食品機械メーカーの事例）」

足掛け5年に及ぶ伴走支援事例を、企業名をオープンにしてご報告いただく予定。

第104回：8月13日（水）「廃業の税務等」 担当：中川学会員

第105回：9月10日（水）「仮 事業承継計画策定支援の事例紹介」 担当：加瀬秀樹会員

当研究会は、本年4月に開催100回を迎えました。今後も、会員の皆さまによる事業承継支援の学びと研鑽、そして情報共有の場として、より一層の充実を目指してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

研究会報告・計画

事業再生研究会

リーダー：山元 岳司 記：伊東 豊二

1. 研究会の目的と活動内容

研究会の目的は、経営資源が乏しいこと等で業績が思わしくなく苦勞されている中小零細企業の事業再生や経営改善を支援するスキルを身に付けることです。

活動内容は、当協会が滋賀県信用保証協会から受託している「経営安定化支援事業」、「創業支援強化事業」、「継続サポート事業」の実践および事例共有と意見交換等による相互研鑽です。

具体的には、本研究会参加の診断士が、企業の経営診断等を行います。その際に、実務経験の浅い診断士は副担当として入り、経営診断等の基礎となる実践経験を積みます。その後、主担当として実践現場でさらに経営診断等の能力を磨きます。

実践する経営診断等は以下のとおりです。

- ・ 経営診断（経営改善コース、事業承継コース、生産性向上コース、フォローアップコース、創業支援コース、創業フォローアップコース）
- ・ 経営改善計画、生産性向上計画、生産性向上設備導入計画、修正計画策定
- ・ 経営改善計画に対するモニタリング支援

事例共有と意見交換等は、守秘義務順守の下、経営診断等の事例を担当した診断士が毎月3件発表し、これを題材に活発に意見交換して相互研鑽しています。書物や個人活動からだけでは得られにくい、実践的な経営診断スキルや経営支援の知見・能力を磨き上げることができます。

日本経済全体の景況は緩やかな回復基調にあるものの、中小零細企業においては、原材料・エネルギー価格の高騰に対する価格転嫁が大きな課題であり、大企業に比べ収益が伸び悩んでいます。そのため、十分な賃上げが困難な企業も多く、人手不足が一層顕著になってきています。デジタル化についても、費用、人材・スキルなどが大きな障壁となっています。事業の立て直しを図るため、事業環境、財務、強み・弱みなどの視点から現状を分析し、様々なアクションプランや経営改善計画等を策定すること、そのような分析・計画を基に、金融機関をはじめ、取引先、従業員、支援機関などの関係者と連携を取っていくことが重要です。本研究会に参加することで、それらの具体的な手法を学ぶ絶好の機会が得られます。



2. 令和7年（1月～6月）の活動状況

毎月1回（第3水曜日夜）、「コラボしが 21」3階会議室で研究会を行っています。新進気鋭の若手会員からベテラン会員まで毎回20名余の研究会メンバーが、各自の診断手法を披露し、活発な議論を行っています。

経営診断/経営改善計画策定発表者と発表事例	
1月	松山茂樹「飲食業」、田中清行「建設業・不動産取引業」、中川学「飲食業」
2月	北村義浩「飲食業」、森部修「整体院」、栗田一人「運送業・倉庫賃貸業」
3月	田畑一佳「運送・メンテナンス業」、佐々木武「運送業」、森川茂樹「寝具・贈答用品小売業」
4月	望月啓司「ゴルフスタジオ」、松山茂樹「製造業」、岡村善裕「和洋菓子製造販売」
5月	伊東豊二「ダンボール加工」、上杉嘉邦「焼き鳥・居酒屋」、北村義浩「クリーニング業」
6月	浅井志郎「人材派遣業・請負業」、佐々木武「運送業・倉庫業」、窪津正充「介護事業」

研究会報告・計画

地域経営研究会

“Creating Shared Value(地域の未来を共創する)”

地域経営研究会 佐々木 武

多様な地域課題に取り組む今年度上期の実践研究活動

【地域資源の活用研究】

4月(第89回):地域歴史資源の活用－安土城址を例にして－

原田隆之 会員

安土城をめぐる近江の知られざる歴史について、地域経済の活性化に歴史資源がどのように活用できるか、信長の遺跡を有する安土地域と他地域を比較しつつ、現状の問題点と安土城址の魅力を活かすための方向性を提起していただき議論しました。



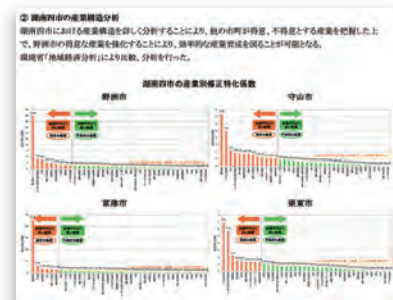
【地域経済動向分析】

5月(第90回):野洲市の地域経済動向調査分析報告

①RESASを活用した経済動向分析:栗田一人会員

②市内事業者データによる経済動向分析:北村義浩会員

野洲市商工会様から依頼の「野洲市の地域経済動向調査分析報告書」を発表。湖南4市(野洲市・守山市・草津市・栗東市)の経済・産業の比較分析を行い、野洲市の経済・産業特性を浮き彫りにしました。



【地域人材育成のモデル事例】

6月(第91回):地域の未来を育てる「野洲こども議会」の挑戦

～体験から始まる次世代人材の育成～

野洲こども議会実行委員会・市民活動団体すまいる

代表 北川亜紀様 若岡聡子会員

市議場を舞台に、小中学生の子どもたちが、地域課題に向き合い政策提言に挑戦する本格的な体験型プログラム。“遊び”を通じて地域と関わり、自ら考え行動する体験は、次世代の地域リーダーを育む第一歩です。その背景と実践、地域経済とのつながりについて紹介いただきました。



【滋賀県の地域観光の展望】

7月(第92回):川戸会長「観光一筋の人生と観光産業の危機を語る」

公益社団法人 びわこビジターズビューロー

会長(元琵琶湖汽船社長) 川戸良幸様

“「人間万事塞翁が馬」の様に歩んだ70年の人生と「ミシガン」と共に生きた45年の航跡、コロナ禍による価値観の変容と人口減少、格差社会、及びオーバーツーリズムなど社会課題に巻き込まれる観光産業の危機とその対応について”熱く語っていただきました。研究会終了後引き続き、川戸氏との意見交換・懇親も行いました。





DX研究会

浅井 志郎

DX研究会の受託案件紹介

令和6年度 小規模事業者DX伴走支援事業 ～小規模事業者のDXを共に描く～

1. 事業の目的と意義

大津商工会議所様が主催する「小規模事業者DX伴走支援事業」は、小規模事業者が自社に最適なDX（デジタルトランスフォーメーション）戦略を立て、業務改善や経営力の向上を図ることを目的とした事業です。この取り組みは、単なるIT導入にとどまらず、経営の課題を見つめ直し、デジタルの力で未来の可能性を広げることを目指しています。



2. 初年度の実施体制と支援対象

令和6年度が初年度となった本事業をDX研究会が受託し、令和6年8月1日から令和7年2月26日までの期間、大津商工会議所様とも連携を図りながら実施いたしました。対象となったのは、リフォーム業、食品加工業、製造業、飲料製造業など、業種も規模も異なる5社。それぞれの企業が抱える課題や目指す方向性に寄り添いながら、DX診断および伴走支援を展開しました。

3. 伴走型支援のアプローチ

本事業の最大の特長は、「伴走型支援」にあります。初回のヒアリングでは、経営上の課題や日々の業務の中で感じている課題感に耳を傾けるところからスタートし、現状分析、課題整理、そして具体的なツールの選定や導入方法の提案へと丁寧に進めました。さらに、実行支援として具体的なツール導入後には現場での操作支援や従業員への説明などを通じて、社内での理解と定着を促しました。

4. 現場に即したDXの実践

たとえば、「顧客リストを活用して新規事業を展開したい」「LINEでお客様と直接つながり販促につなげたい」「配達情報の伝達や決済業務を効率化したい」といった具体的なご要望に対し、それぞれの現場に合った形でDX戦略を共に設計・実行しました。単なるシステム導入ではなく、経営全体の見直しに繋がるような提案・支援を意識し、また、期間を通じて、経営指導員の皆様とも緊密に連携をとりながら、実効性の高い支援を心がけました。

5. 情報共有と知見の循環

また、事業の進捗に合わせて中間報告会や最終報告会を開催し、支援事例や得られた知見を大津商工会議所様の関係者間で共有しました。加えて、これらの情報は、DX研究会の中でも展開し、会員の皆様にも広く還元させて頂いており、他社の事例を知ることで支援先に役立つヒントが得られる機会としてご好評をいただいております。

6. 次年度への継続と展望

このような取り組みが評価され、令和7年度も本事業を継続して実施することが正式に決定いたしました。引き続き、大津商工会議所様と連携のもと、DX研究会は滋賀県内の小規模事業者の皆様と伴走しながら、地域経済の活性化と持続可能な経営体制の構築に貢献してまいります。今後とも、DX研究会の活動にご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



リスクマネジメント研究会

上杉 嘉邦

1. 名称変更

以前はBCP研究会として、自然災害や感染拡大などに備えるべきリスクに対応しておりました。今後はリスクマネジメント研究会として、近年関心が高まっているサイバーセキュリティや金融支援等、企業が抱える様々な問題にも対応できるように、専門家としてのスキルアップを図り、中小企業の事業継続力の強化、地域経済の発展に貢献したいと考えています。

2. 実施内容

これまでのBCP研究会としての活動を引き継ぎつつ、中小企業における経営に関わる多様なリスク(大規模自然災害の発生, 情報漏洩, 粉飾決算, 売掛金回収難, 外注先の業務停止ハラスメント行為, 役員・従業員の法令違反等)に関する情報収集, 分析, 情報共有を行い, リスクの的確な影響評価手法の提案および未然防止のための方針検討・策定に加え, リスク遭遇時の被害軽減のための事業継続力強化計画策定等、経営コンサルティングサービスの提供スキーム確立を検討しています。



3. 今期の活動と予定

研究会として取り上げる内容は以下の通りです。研究を深めていきたいリスクは、研究会での話し合いを通じて取り上げます。

研究会は原則第3土曜日15時開始で開催いたします。次回は10月18日の開催です。

4. 今後の研究テーマ予定

- ・リスクマネジメントの基礎
- ・サイバーセキュリティ、デジタルセキュリティ
- ・信用リスク(与信管理)
- ・事業継続力強化計画策定後のフォローアップ

研究部会報告・計画

創業支援研究会

栗田 一人

人々の『WILL』を『REAL』に変える

滋賀県中小企業診断士協会の中でも、創業・スタートアップ支援への熱い“想い”を持ったメンバーで構成されたこの研究会は、「人々の『WILL』を『REAL』に変える」というビジョンを掲げて活動しています。

「いつかやりたい」を「今、始めよう」へ。

「できるだろうか」という不安を「きっとできる」へ。

その一歩を支えるのが、私たちの役割です。

どんな支援があるの？

創業を目指す方には、実に多くの壁が立ちまわります。資金調達、ビジネスモデル、販路開拓、人材確保……。私たちは、月に一度の研究会を通じて、そんなリアルな悩みに向き合い、解決への道筋を探索しつづけています。たとえば、事業計画書をブラッシュアップしたり、補助金の活用方法を具体的にアドバイスしたり、あるいは、マーケティングや集客に関する知識を、ゼロから丁寧に共有したり。机上の理論ではなく、「現場で使えるノウハウ」を届けることに、私たちはこだわっています。

創業のその先へ

創業は、ゴールではありません。むしろそこからが、本当のスタートです。

私たちは、開業後の継続的な経営支援にも力を入れています。お金の流れが見えるようになったとき、最初の契約が決まったとき、初めて「ありがとう」と言われたとき——。そんな小さな喜びを、一緒に分かち合える存在でありたいと願っています。

私たちの想い

なぜ、私たちはここまで「創業」にこだわるのか。

それは、創業こそが、地域を変え、社会を変える原動力だと信じているからです。

創業支援研究会には、経営、財務、販売、ITなど、各分野に精通した診断士が集い、志ある创业者の“背中をそっと押す”役割を担っています。滋賀から、熱い志をもった経営者を、一人でも多く育てたい。そんな強い気持ちで、日々活動しています。

あなたの挑戦を、私たちが支えます。

自分の“想い”に気付いたその時、私たちにご相談ください。

「私にはずっと描いていたアイデアがあるんです。

でも、どう動けばいいのかわからなくて、踏み出せないんです。」

私たち「創業支援研究会」が大切にしているのは、

そんな“想い”を実現し、いつまでも続けていけるようにすることです。



私たちがあなたの「夢」を実現する

今年度の取組

1. 創業ノウハウを学べるオープンセミナー

毎月、創業前後に直面する課題・テーマについて、各分野の専門家が発表を行います。
創業する人も！ 創業した人も！ 創業を支援する人も！ぜひ、ご参加ください！

- | | |
|---|--------|
| 8月2日(土) : 「売れる商品はどう作る！ 初めてでもできる商品開発の進め方」 | 中村 文香氏 |
| 9月5日(土) : 「そのビジネス、なぜ儲かる？ “仕組み” から学ぶビジネスモデル入門」 | 小山 友介氏 |
| 10月3日(日) : 「初めての営業 販路開拓！ 顧客に欲しいと思ってもらう準備」 | 上杉 嘉邦氏 |

2. 最先端の創業・スタートアップ支援を知る先端施設視察

創業・スタートアップ支援の最前線を視察し、関係者と意見交換することによって、知見を高めます。
多くの方のご参加、お待ちしております！

日時：2025年9月24日(水)

視察内容(案)：

- ①「なぜ、今、スタートアップ支援なのか。
～診断士に求められる危機感とチャレンジ～」
公益財団法人 愛知県中小企業診断士協会 会長 松井督卓様
- ②「Aichi-Startup戦略～スタートアップの現在と未来～」
愛知県 スタートアップ推進課 課長 長谷部様
- ③国内最大級のスタートアップ支援施設「STATION Ai」視察
- ④スタートアップ企業によるPitchイベント見学

3. 新たな創業支援の手法を生み出す調査研究事業

人口減少時代における創業・スタートアップ支援のあり方を調査研究し、新たな創業支援の手法を開発します。現在、「エフェクチュエーション」の第一人者である神戸大学吉田准教授に指導・監修を依頼しています。

私たち創業支援研究会は、創業者・経営者の“想い”に負けない“熱意”で取り組んでまいります。今後の研究会活動にぜひ、ご期待ください。



創業支援研究会HP

活躍する診断士の横顔

現場に根ざし、人に寄り添う支援を。

【プロフィール】

中小企業診断士。再生支援、事業承継、生成AI活用支援、企業研修などを通じて、経営者と現場に寄り添った支援を行う。

(株)穴吹工務店財務本部・経営企画室・営業経験、退職後、首都圏で数社の中小企業役員・業務改善経験を経て、2007年より中小企業の再生・承継支援に携わる。

2025年4月に独立し、現在は企業研修講師や生成AIアカデミー講師としても活動。



14 TurnAround Consulting

代表 鹿野 博之

【現在の活動】

滋賀県事業承継・引継ぎ支援センターにて、専門家の皆さまと連携しながら事業承継支援に携わっています。また、企業の成長を支える人材育成にも注力し、講演や研修、AI活用支援などの実務支援を行っています。

【これからの展望】

再生支援の現場で培った経験と、生成AIや副業支援の知見を活用し、これからの時代に求められる「変化に強い組織づくり」を支援していきたいと考えています。

「仕事が速いですね」と言っていたことが多く、それが私の強みです。

また、スピード感だけではなく、下積みの長かった私だからこそ、人の痛みが分かる、丁寧で実践的な支援ができると思います。

【おわりに】

ご縁を大切に、経営者や従業員、企業を取り巻く関係者の想いに寄り添った支援を心がけています。

今回の記事を通じて、私のことを知っていただき、何かの場面で一緒に仕事がしたい!と感じていただけたら幸いです。

今後とも、よろしくお願いいたします。

活躍する診断士の横顔

"まちの親愛なる隣人"になりたい！

中小企業診断士になったきっかけ

私は、普段行政職員として地域のために働いております。365日24時間まちのために尽くせるやりがいのある仕事である一方、定期的な人事異動により専門性を深めることが難しく、もどかしさを感じることもありました。

「行政以外でも、ライフワークとしてまちのためにできることはないか」——そう考え抜いた末に辿り着いた答えが、普段は行政職員としてまちのために働き、行政としての業務時間外は、中小企業診断士として、まちで頑張っておられる事業者様を支援するという、「公務員×中小企業診断士」という道でした。

中小企業診断士になってから

2024年2月に大阪経済大学中小企業診断士登録養成課程(5期)を修了し、同年4月より中小企業診断士として活動を開始。その勢いのまま滋賀県中小企業診断士協会に入会いたしました。最初に参加したDX研究会では、すぐに発表する機会をいただき自分の実績や想いを精一杯アピールさせていただいたところ、そこから様々な支援の機会をいただけるようになりました。特に、望月先生に熱心にご指導いただいたLINEを活用したマーケティングDX支援ノウハウは、今では私の最大の支援ツールとなっています。

現在は、大津商工会議所様や滋賀県商工会連合会様などと連携し、DXを切り口とした小規模事業者様への支援に携わせていただき、事業者様から喜びのお声をいただく機会も増えてまいりました。

一つひとつの支援に丁寧に取り組むことで、DX研究会の運営メンバーやプロコン・ステージアップ塾の事務局にもご指名いただくなど、滋賀県中小企業診断士協会との関わりも深まっています。入会から約1年4ヶ月というまだまだ新参ものですが、多くの先輩診断士の皆様に懇切丁寧にご指導・ご鞭撻いただき、充実した協会ライフを送らせていただいております。

これから目指していきたいこと

プロコン塾で磨き上げた私の目指す姿は以下のとおりです：

肩書：地域密着型デジタルコンシェルジュ

ミッション：一店舗、一人のデジタル活用から、まちの笑顔を広げる

キャッチフレーズ：まちの親愛なる隣人

「まちの親愛なる隣人」——その語源は、私の大好きなキャラクター、スパイダーマンにあります。彼は絶大な力を持つヒーローでありながら、決して人知を超えた超越者ではありません。その心は、人並みの悩みを抱えた平凡な青年そのものです。だからこそ彼は、自分が何者かと問われたとき、こう答えるのです。

「あなたの親愛なる隣人、スパイダーマン！」

私も、特別な存在ではなく、まちの皆様にとって身近で頼りになる存在でありたい。DXという武器を手に、一人ひとりの事業者様に寄り添い、ともに成長していける——そんな「まちの親愛なる隣人」をこれからも目指して参ります。



長谷川 祐介

一般社団法人Community Boost
Consulting代表理事

info@community-boost-consulting.com

行政職員の傍ら、一般社団法人代表理事(無報酬)の中小企業診断士としてまちの事業者の支援に取組み、365日24時間地方創生に挑戦中！
得意分野はDX支援



一般社団法人Community
Boost Consultingロゴマーク

新入会員紹介



楠見 賢二
くすみ けんじ

滋賀県商工会議所連合会 / 経営・技術強化支援事業エキスパート登録

住 所:大阪府高槻市 Tel:090-3224-8759 email:kusumi@asunavi.com

分 野:創業支援、マーケティング・販路開拓、組織人事全般、事業再生、補助金申請 等

はじめまして。2021年に診断士登録しました。その後も東京の事業会社(サービス業)で取締役をしており、企業運営全般の管理・指導をしていましたが、2024年7月に一念発起して関西に戻り、診断士としての仕事を本格的に始めました。上場企業の取締役とその子会社(中小企業)の代表取締役の両方を経験しておりますので、社長様の苦悩はよく理解しております。経営者の方々の考える「あるべき姿」の実現に向け、様々な支援で貢献できるように頑張っております。



伊藤 勝
いとう まさる

住 所:滋賀県大津市 連絡先:ito@mirai-sisin.jp

大阪経済大学登録養成課程で学び、2025年4月に中小企業診断士として登録しました。これまで、外食チェーン本社の財務経理部門にて、主に全社および店舗別の予算実績管理や業務改善に携わってまいりました。また、販売管理や勤怠管理など、POSと連動したシステム導入・運用支援を通じて、現場の業務効率化とバックオフィスの連携にも取り組んできました。今後は、これらの計数管理の経験を活かし、事業承継や事業再生といった分野で中小企業の皆様をご支援していきたいと考えております。

これまでの経験を糧に、今後も日々研鑽を重ねてまいります。何卒、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



神出 一昭
かみで かずあき

住 所:滋賀県大津市

携 帯:090-7349-7076 メール:kamideman123@yahoo.co.jp

勤務先:タキイ種苗株式会社/東近江市役所

2024年11月に中小企業診断士として登録し、2025年4月に滋賀県中小企業診断士協会へ入会させていただきました。大学卒業後は、種苗メーカーにて近畿および九州の拠点にて営業職として9年間従事したのち、資材部にて営業支援、仕入、商品企画の業務を担当いたしました。現在は、総務省の「地域活性化起業人」制度により、東近江市に派遣され、農業振興を通じて地域の活性化に取り組んでおります。今後は、研究会活動や実務に携わりながら研鑽を重ね、企業・地域・社会への貢献につなげていきたいと考えております。



小山 友介
こやま ゆうすけ

住 所:滋賀県野洲市 連絡先:yusuke.koyama1212@gmail.com

1996年生まれ。大学卒業後は製造業で、「製造現場の設備コンサルタント」をしており、設備設計・工程改善・保全業務などに携わってまいりました。現場目線を大切にしながら、設備投資に頼らない生産性向上やコスト削減を数多く実現してきました。中小企業診断士としては、若手経営者や従業員に寄り添い、事業計画や経営改善の支援を行ってまいります。理系の専門知識に加え、継続力・行動力・多様性を認める柔軟な視点を強みに、変化を楽しみながら支援に取り組んでいます。「気軽に話せて、一緒に未来を創るパートナーになる」ことをモットーに、相談しやすい診断士として皆様のお力になればと思います。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



松山 隼士
まつやま はやと

住 所：滋賀県守山市

連絡先：090-8095-0935 E-mail: matsuyama@hayabusa-ks.com

2025年4月に中小企業診断士として登録・独立し、協会にも入会させていただきました。前職の大手化学メーカーでは約10年間、生産技術職として、医療機器の製造ラインや樹脂フィルム製造ラインにおける新規設計や効率化などに携わり、「どうすればもっと良くなるか」を常に追求してまいりました。この現場経験を活かし、机上の空論ではない、地に足のついた生産性向上やコストダウンをご支援することが私の強みです。生産プロセスの改善やDX化の推進を通じ、企業の持続的な成長を後押しできるよう、経営者の皆様に寄り添い、共に汗を流せる伴走者を目指します。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



吉田 和弘
よしだ かずひろ

住 所：滋賀県近江八幡市

連絡先：kyxxxx1982@gmail.com

得意分野：品質管理・ISO活用支援、生産性向上、業務改善、CSR

製造業技術開発職での品質管理や業務改善の豊富な実務経験を持った「現場を知る経営コンサルタント」として、経営戦略から現場カイゼンまで一貫通貫のコンサルティングが最大の強みです。特に人手不足や生産性向上に悩む中小企業に対し、現場の実態を深く理解した上で、業務の可視化と効率化による収益改善、社員の待遇向上の両立を実現する伴走支援を行います。ISO内部監査員ほか、技術系資格も多数保有。著書「30歳までに身に付けたい品質管理の考え方」(Amazon Kindle書籍)好評発売中!どうぞよろしくお願いいたします。



小西 一誠
こにし いっせい

住 所：京都市山科区

連絡先：i.konishi@ko-keiei.com

得意分野：事業再生、事業承継、資金調達、創業支援

大学卒業後は薬剤師として調剤薬局に勤務しましたが、業界再編に危機感を覚えて経営コンサルティング会社へ転職し、事業再生・承継等の役務を提供してまいりました。その後、会計事務所にて創業支援や税務申告等の業務に従事いたしました。様々なステージやニーズのクライアントに関わらせていただきましたが、一貫して重視していたのは収支、および財務状況の改善であり、今後もこのテーマを中心として中小企業の成長と事業継続を支援していきたいと考えております。ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



古田 真吾
ふるた しんご

住 所：滋賀県草津市

株式会社ブライダル・ポート 代表取締役

私は、大学卒業後に大手コンビニエンスストアに入社しました。店长、そして店舗指導員に昇進した後、熊本県内12店舗の指導を4年ほど経験致しました。30歳で退職した直後に母が創業した美容会社を事業承継し、社長として13期目を迎えるところです。事業承継後すぐに結婚式プロデュース事業を第二創業として始動しましたが、当初はまったく仕事が取れず苦難の道のりが長く続きました。3年たったころに事業が軌道に乗り始め順調に売上を拡大してきましたがコロナ禍で厳しい環境に置かれました。致し方なく過去の経験を活かしてコンサルまがいな仕事で食い繋いで来ましたが、それら売上が7割を占めるようになったため、昨年度から診断士の勉強を始め今年の5月に登録いたしました。新人として皆様から多くの事を学び地域企業に必要とされる人間に成長するため、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆様へ

当協会会員は、経営革新セミナー、創業塾などのセミナー、講演会、研究調査等の企画、実施まで責任を持って実行します。また、商店街などの中小の集積から個別企業まで、多くの業種の経営計画の支援や実務支援等を現場で行っています。企業内研修、団体研修、専門家の派遣等でも多くの実績があります。当協会会員には、中小企業診断士だけでなく、弁護士、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、ISO9000,14000等審査員、情報システム、不動産鑑定士、など他の資格者も擁する人材の宝庫でもあります。専門家とのマッチング、費用のご相談など、無料窓口相談で行っていますので、業界に関わらず広く経営に関することなら、お気軽にご相談ください。

無料経営相談のご案内

当協会では、平日の午後1時より午後5時まで、予約制で、中小企業診断士による無料経営相談を実施しています。経営者を始め、営業担当者や創業を考えている方、各種団体との連携を求めておられる方など、多くの方に安心して利用いただいています。特定の分野での専門家をお探しの場合は、電話やメールであらかじめ、ご相談していただくことも可能です。

発行者

一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 4階
TEL: 077-511-1370 FAX: 077-511-1371
Email: jsmecca25@jade.dti.ne.jp
HP: <https://shiga-smeca.net>



ホームページ

アクセス

京阪電車石場駅より徒歩3分
JR大津駅からバス「びわ湖ホール」または「商工会議所前」下車

